

開催日：令和 6年 8月 22日（木）
14:00～（1時間30分程度）
場 所：由利本荘市消防本部 4F大会議室

資料－5

鳥海ダム建設事業の現状と 今回の洪水に対する効果について

鳥海ダムの概要

鳥海ダムの目的

子吉川沿川の洪水被害の軽減、流水の正常な機能の維持、由利本荘市への水道用水の供給並びに発電を目的に鳥海ダムを計画しています。

鳥海ダムの諸元

ダム型式	台形CSG
ダム高	81.0 m
堤頂長	380.4 m
堤体積	約 1,438千 m ³
総貯水容量	約 46,800千 m ³
湛水面積	3.1 km ²
集水面積	83.9 km ²

事業期間

平成5年度～令和14年度

①洪水被害の軽減

ダム地点の計画高水流量780m³/sのうち700m³/sを調節し、ダムからの放流量を80m³/sに抑えることで子吉川流域の洪水被害の低減を図る。

②流水の正常な機能の維持

渇水時でも子吉川の水利用が安定して行えるようにダム湖の水を子吉川に補給するほか、塩水遡上の低減など河川環境の保全を図る。

③水道用水の供給

由利本荘市に対し、新たに1日最大20,670m³(0.239m³/s)の水道用水の取水を可能にする。

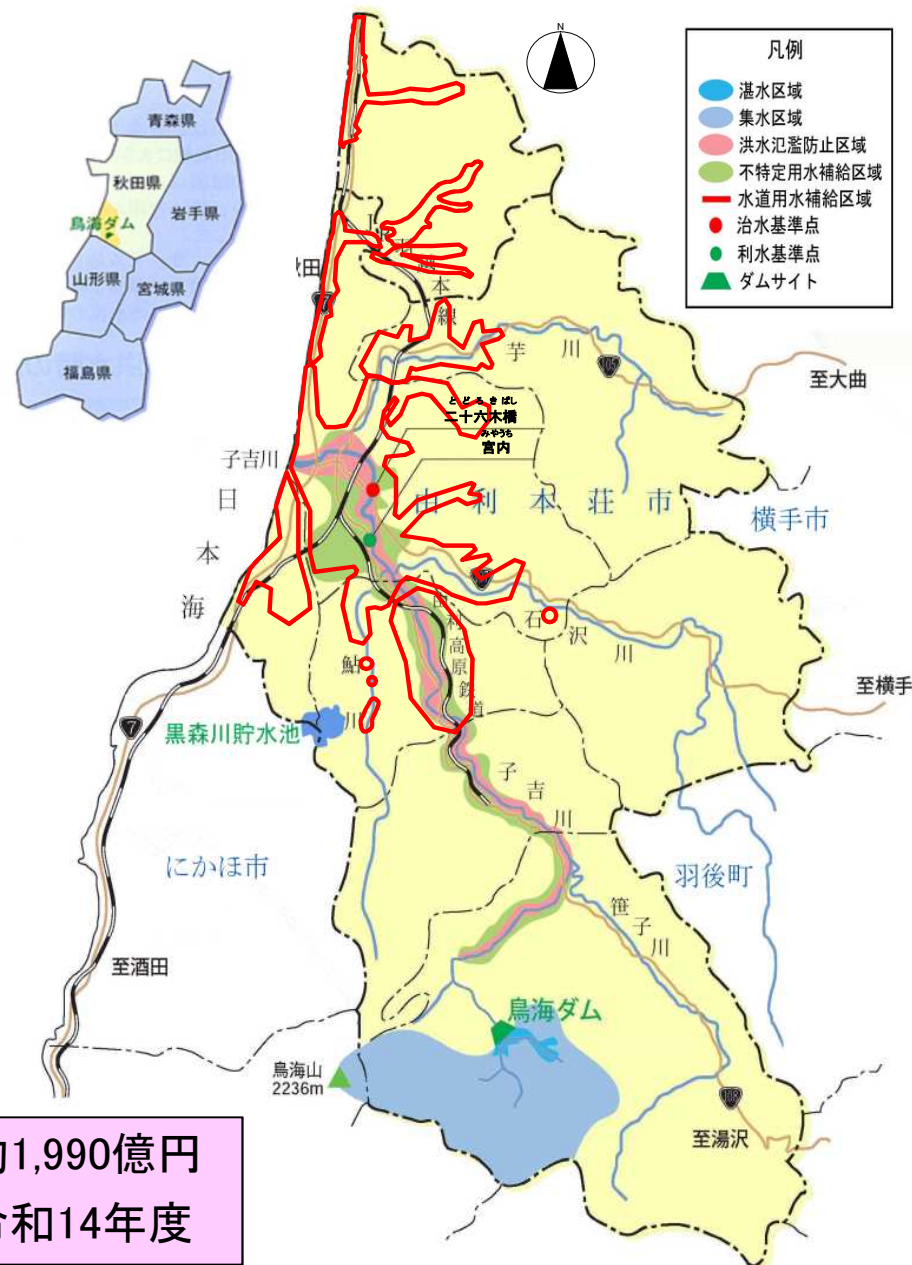
④発電

秋田県がダムの放流水を活用して最大出力990kWの発電を行う。

貯水池容量配分図



鳥海ダム受益地位置図



総事業費: 約1,990億円
完成予定: 令和14年度

※令和5年度時点

鳥海ダムダムサイト現地状況

(上流側から望む)



鳥海ダムの効果【出水速報(第3報)抜粋】

- 子吉川下流では、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(H30~R2)、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」(R3~R7)で河道掘削等を実施。
- これにより今回の洪水では、石沢川合流点付近で約30cm水位を低減させたと推測。
- さらに鳥海ダムが完成した場合、石沢川合流点付近で約70cm水位を低減させると推測され、子吉川、石沢川の堤防決壊地点で計画高水位以下に流下させることができ、決壊リスクを軽減できたと推測。

河川整備実施箇所位置図



石沢川合流点付近の状況



水位低減効果

